



Cat[®] 352F L

油圧ショベル

2017

352F Lは、生産性の向上と、所有コストやオペレーティングコストの削減を目指して製造されました。さらに、出力、燃料効率、信頼性など、成功に必要な要素をすべて備えています。

作業性能

- C13 ACERT™エンジンは、オフロード法2014年 (Tier 4 Final) 排出ガス基準に適合しています。
- オートマチックエンジンスピードコントロールが負荷に応じて回転数を下げ、燃料消費量を低減します。
- 複数のパワーモードで、燃料消費量を積極的に管理します。

Cat[®] Connect (Catコネク) テクノロジー

- CAT Connectテクノロジーソリューションは、LINK、GRADEおよびDETECTテクノロジーを提供することにより、生産性を向上し、オペレーティングコストを最低限に抑え、投資利益を最適化します。
- VisionLink[®]では、車両の位置、稼働時間、非稼働時間、燃料消費量、生産性、診断コードなどの車両運転データに無線でアクセスできるため、車両性能を最適化します。
- Catグレードコントロールから切崩し/埋戻し情報をリアルタイムで提供するため、勾配や傾斜を従来よりもすばやく正確に造成できます。

メンテナンス

- 給脂箇所やフルードタップなどの日常メンテナンス箇所には、地上から楽に手が届きます。
- 並列クーリングシステム装備で清掃が容易です。
- 複数のS-O-SSMポートと圧力診断タップを備え、メンテナンス時の休車時間を短縮します。

快適性

- フルサイズの転倒時運転者保護構造 (ROPS、Roll-Over Protective Structure) 認定キャブは、静かで快適です。
- ジョイスティックコンソールとアームレストは調整できます。シートは調整式で、エアサスペンションと冷暖オプションが用意されています。
- LCDモニターは操作が簡単で、44言語でプログラミングできます。

汎用性

- Catシャーやマルチプロセッサにより、解体作業をすばやく簡単に完了。
- 専用のCatバケットとハンマーで採石作業にも難なく対応。
- カブラを装備しているため、キャブを降りなくても、アタッチメントをわずかな時間で交換可能。

耐久性

- ブームとスティックは耐用年数の延長を目指して製造されています。
- 高い負荷のかかる部分には、多板構造、鋳造品、鍛造品を使った箱型断面構造を採用。トラックシュー、リンク、ローラ、アイドラ、ファイナルドライブは、引張り強度の高い鋼製です。
- グリース潤滑式のトラックリンクをピンとブッシュの間に配備し、足回りの寿命を延長するとともに騒音を低減。

安全性

- スマート給油により、高速充填燃料ポンプを停止すべき時を感知し、過剰な給油を防ぎます。
- リアビューカメラにより良好な視界を確保し、より効果的、効率的に作業を遂行。
- 延長されたハンドレールとガードレールがデッキ昇降時の安全性を確保し、滑り止めプレートがあらゆる天候で滑る危険を低減。



オフロード法2014年
基準適合

Cat® 352F L油圧ショベル

エンジン

エンジン名称	Cat C13 ACERT
定格出力 (グロス) – SAE J1995	322 kW (432 hp)
定格出力 (ネット) – SAE J1349	311 kW (417 hp)
内径	130 mm
行程	157 mm
総行程容量	12.5 L

車両質量

最小質量*	50,800 kg
最大質量**	51,500 kg
*可変ロングゲージ足回り、6.9 mリーチブーム、R3.35TB HDスティック、9.0 mtカウンタウエイト、600 mm TGシュー。	
**可変ロングゲージ足回り、6.9 mリーチブーム、R3.35TB HDスティック、9.0 mtカウンタウエイト、750 mm TGシュー。	

油圧系統

メインシステム – 最大流量 (合計)	770 L/min
スイングシステム – 最大流量	385 L/min
最大圧力 – 作業機	35,000 kPa
最大圧力 – 走行時	35,000 kPa
最大圧力 – 旋回時	27,500 kPa
パイロットシステム – 最大流量	27 L/min
パイロットシステム – 最大圧力	4,120 kPa

走行

最高走行速度	4.7 km/h
最大けん引力	335 kN

交換時の容量

燃料タンク容量	720 L
冷却水	50 L
エンジンオイル (フィルタ付き)	38 L
旋回ドライブ (片側)	10 L
ファイナルドライブ (片側)	15 L
油圧系統 (タンクを含む)	570 L
作動油タンク	407 L
尿素水タンク	41 L

旋回

旋回速度	8.7 rpm
旋回モーメント	148.5 kN-m

寸法

足回りのタイプ	可変ロングゲージ
ブーム	リーチブーム 6.9 m
スティック	R3.35TB
バケット	2.1 m ³
全高 (輸送時)	3,570 mm
全長 (輸送時)	11,800 mm
後端旋回半径	3,730 mm
ローラの中心間距離	4,340 mm
トラック全長	5,350 mm
最低地上高*	740 mm
クローラ中心距離 – 拡幅時	2,890 mm
クローラ中心距離 – 縮幅時	2,390 mm
トラック幅 – 展開時 – 750 mmシュー	3,680 mm
トラック幅 – 格納時 – 750 mmシュー	3,180 mm
キャブ高さ	3,370 mm
キャブ高さ (トップガード装着時)	3,540 mm
カウンタウエイト下端高さ*	1,430 mm
* シューラグの高さを含まない。	

作業範囲

足回りのタイプ	可変ロングゲージ
ブーム	リーチブーム 6.9 m
スティック	R3.35TB
バケット	2.1 m ³
最大掘削深さ	7,510 mm
最大床面掘削半径	11,710 mm
最大切削高さ	10,970 mm
最大ダンプ高さ	7,580 mm
最小ダンプ高さ	2,900 mm
最大垂直壁掘削深さ	5,680 mm

Cat製品、ディーラーサービス、業種別ソリューションの詳細については、www.cat.com をご覧ください。

© 2017 Caterpillar
All rights reserved

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械には、オプション装備品が装着されていることがあります。装備可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

CAT, CATERPILLAR, SAFETY.CAT.COM, それらの各ロゴ、"Caterpillar Yellow"および"Power Edge"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

VisionLinkはTrimble Navigation Limitedの商標であり、米国およびその他の国で登録されています。

労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン未満の建設機械の運転には、事業者が実施する「小型車両系建設機械運転技能特別教育」の修了が必要です。労働安全衛生法に基づき、機体質量3トン以上の「車両系建設機械（整地、運搬、積込、掘削用および解体用）」の運転には、登録教習機関の行う「技能講習」を受講し修了証の取得が必要です。

AJXQ1932-01
置き換えAJXQ1932
(日本)

